

# 目次 (古文20題・漢文10題)

①	《古文 物語など》の読解と鑑賞・批評	16年度・広島大	4
1	「中将 姫本地」	16年度・岐阜大	7
2	「撰集抄」	16年度・神戸大	9
3	「今昔物語集」	15年度・富山大	12
4	「大鏡」	14年度・金沢大	14
5	「平治物語」	15年度・京都大	16
6	「雑々集」	16年度・岡山大	17
7	「平中物語」	14年度・大阪大	19
8	「今昔物語集」	15年度・九州大	21
9	「源氏物語」 紫式部	14年度・新潟大	24
10	「堤中納言物語」	15年度・京都大	26
11	「うつほ物語」	15年度・東京大	28
12	「夜の寝覚」	16年度・東京大	30
13	「あきざり」	15年度・千葉大	32
②	《古文 随筆・日記・韻文など》の読解と鑑賞・批評		
14	「仮名本朝孝子伝」 藤井懶斎	16年度・鹿児島大	34
15	「和泉式部日記」 和泉式部	15年度・千葉大	36

16	「涙草」 京極伊知子	15年度・名古屋大	38
17	「東山鹿間の道の記」 香川景樹	15年度・東北大	40
18	「狂歌現在奇人譚」 八島定岡	14年度・北海道大	42
19	「癩癖談」 上田秋成	16年度・筑波大	44
20	「後撰和歌集」	15年度・新潟大	46

③	《漢文》の読解と鑑賞・批評		
21	「柳弧」 丁柔克	14年度・金沢大	47
22	「鶴林玉露」 羅大経	16年度・大阪市立大	48
23	「貞観政要」 呉兢	14年度・熊本大	50
24	「呂氏春秋」	15年度・神戸大	52
25	「白居易集」 白居易	14年度・東京大	54
26	「秋声詩 自序」 林嗣環	15年度・大阪大	56
27	「資治通鑑」 司馬光	14年度・名古屋大	58
28	「中山盜録」 楊維禎	16年度・九州大	60
29	「大唐新語」 劉昫	15年度・千葉大	62
30	「郁離子」 劉基	14年度・新潟大	64

注出題年度は西暦下2ケタで表しています。  
例 14年度→2014年度

## はしがき

この本を手にとって見られた皆さんは、入試問題にどんな姿勢で臨んでいるのでしょうか。世間には、こうすれば正解にたどり着けるといった、いわゆるハウ・ツー的な情報がたくさんあります。繰り返しや強調表現あるいは接続詞に注目したり、傍線を引いて構造を考えたり、様々なスキルが提供されています。でも、そればかりに頼っていると、そのスキルが通用しない時には途方に暮れるしかありません。問題文をよく読んでください。大変味わいのある、また、考えさせられる文章が多いのに気が付くでしょう。国語の読解問題は、こんな文章を読んでほしい、こんなことを考えてほしいといった、大学の先生からのメッセージにあふれています。受験勉強は、義務的にやるものではありません。読解力を高める絶好の機会であり、じっくりと考えを深める機会でもあります。正解への近道はありません。あるように見えてもその時だけの幻想にすぎないのです。

本問題集の特長として、厳選の上にも所収された入試問題の豊富さがありません。読解力は一朝一夕に身につくものではなく、日々の積み重ねが必要で、そして、自らの進路実現を果たすための読解力をつけるには、それにふさわしい内容の演習を相当量こなすことが要求されます。本問題集では、長文かつ記述式の問題を多く採用していますが、それらはすべて最近の国公立大学入試の「良問」といわれるものばかりです。「良問」といわれる問題は、安易な本文要約や、解答らしきものが記されている箇所を適切にまとめた上で、答えを導き出せるものではないことが多いのです。大学は、「自分はこの文をこう読みました」「こう理解しました」とはっきり記述している答案を求めています。理解できているかどうかが大変なわけですから、本文をこね回してよしとしている答案は評価されません。

そのため、本問題集は、理解に至る「過程」を重視し、その「過程」を具体的に詳解することを主眼とした「解説」を心がけています。「何が書いてあるか」ということを理解するためのポイント、「何をどう書くか」という記述のためのポイントを分かりやすく解説することで、皆さんの読解力と記述力の向上に役立てることを確信しています。

平成二十九年三月 新国語問題集編集委員会

## ●本書の特色と学び方

【本文】 学習の方法を会得するのに、はつきりしたもの、高校生と密着した題材のものを選んだ。問題は、原則として易から難の配列になっている。

【問】 要旨・主題に関する「問」を中心として、その問題の根幹となる設問に◎印をつけた。

## 【別冊・解答ノート】

すべての解答が書き込めるようになっている。記述式問題で、設問に字数の指示がないものには、およその目安を「目安○字」として設けた。参考にしてほしい。

## 【別冊・解答考察編】

設問一つ一つについて、正解にいたるまでの考え方(過程の演習)を詳細に考察している。また、記述式設問には「採点基準」を設け、解答のポイントと、得点の目安を記している。